1
January 2014
第717号
平成26年1月1日発行
（毎月1日発行）

さめがわ

［広報］

Public Relations SAMEGAWA

何事もウ・ウマくいく2014年に…

【新春対談】

さめがわの魅力、再発見！

明日飛学園（葉貫）のポニー・りんごちゃん

新春座談会

さめがわの魅力、再発見！

新年あけましておめでとうございます。
2014 年の年頭にあたり、大樂村長をはじめ、前田村議会議長、
村内で活動されている若い世代の方々に、
それぞれの立場から見えてくる鮫川村の魅力についてお話いただき、
今後の村づくりにつなげていきたいと思いますので、
よろしくお願いします。（司会あいさつ）



出席者

大樂勝弘村長
前田三郎村議会議長
高野加代子さん（主婦・西山字発地岡在住）
遠山陽子さん（緑のふるさと協力隊・西山字沼野沢在住）
阿久津修司さん（農業・赤坂西野字滑石在住）
関根巨樹さん（村商工会青年部長・西山字水口在住）

（写真右から）



Naoki Sekine

人口減少を逆手にとって少人数だからできることがある

それぞれの立場で変化があった２０１３年

――まず、二〇一三年が皆さんにとってどんな一年だったかお聞かせください。

関根　商売をさせてもらって、そして、村商工会青年部として村にお世話になっている身としては、与えられた環境が大きく変わった年でした。村商工会青年部の部長職という役職をもらい、また一つ村を見る目が変わったのかなと思います。それとともに、若手が入ってきているので、若手の育成をしていかなければいけないと思った一年でもありました。

遠山　緑のふるさと協力隊として、四月から鮫川村で生活していますが、やることなすこと全てが初めての経験で、自分の中で大きく一歩踏み出した年でした。一人暮らしや雪道の運転など、「初めて」が数え切れないくらいありました。

高野　子どもの成長とともに、生活も変わった年でした。昨年、一番下の子がこどもセンターに通い始めたので、今まで以上に家の手伝いができるようになりました。農作業などをお義母さんに習っています。

阿久津　近年、農作業受託を受ける件数が増えています。また、昨年の夏には村から委託された草地の除染作業も並行してやっていたので、例年以上に忙しい年でした。

村長　村の大きな事業もひと段落し、第三次鮫川村振興計画のまとめの年としては良かったと思います。また、子どもたちの活躍に背中を押され、勇気をもらいました。子どもに負けないように、大人の責任としてしっかり前進しなければと思わされた一年でした。



Yoko Toyama

温かく迎えてくれる村の人の優しさに感激

議長　東日本大震災の影響により、村議会として住民の生活安定のために奔走した一年でした。今後、住民の理解を得ながら事業を進めていけば、以前の鮫川村の姿を取り戻すことができると思います。

美しい里山景観と「おもてなし」の心

――続いて、本日のテーマ「さめがわの魅力、再発見」ということで、それぞれの立場から見えてくる鮫川村の魅力についてお話いただきたいと思います。まず、農業に従事している阿久津さんは、どういったところに村の魅力を感じますか。

阿久津　草刈りが行き届いた美しい景観は、金で買えるものではありません。そういうものがなくなっては、鮫川村の魅力が減ると思います。そのためには、耕作したり土手草を刈ることをやり続けることが必要になります。実際にその場を訪れないと味わえない感動や美しさを持っているもの、インターネットなどでは感じられないものがあることは大切だと思います。

村長　景観の美しさは農業を続けることで守られています。耕地が荒れてしまっては、里山景観は保たれません。

　きれいな村づくりはとても大切だと思っています。また、都市部の人たちが「ゴミが捨

てられていなくて、こんなにきれいな村は初めてだ」などと、環境の良さに感激しています。そう言ってもらえると、住んでいる私たちもさらに誇りに思えます。そのためにも、村民一人一人がゴミを捨てずに、ゴミを見つけたら拾うなどして、さらに美しい村にしていきたいですね。

議長　里山景観を守っていくためには、阿久津さんのような農業経営をする仲間を作ってもらう必要があると思います。また、そこに暮らす人の魅力があると思います。農村の人というのは「おもてなし」の心を持っています。都市部の人はそういったものも求めて、鮫川村に来ているのかなと感じます。

――遠山さんが思う「鮫川村の魅力」は何ですか。

遠山　まず、鮫川村に来て感じたことが食べ物との距離が近いということです。多くの人が自分で野菜を作って、それを食べて生活しています。また、たくさんの保存食が作られていますが、その作り方はインターネットでは知ることができません。経験談が多いので、直接教えてもらわないと分からないことがたくさんありました。

　また、鮫川村の皆さんは、優しい人たちばかりで感激しています。ふらっと行っても嫌な顔ひとつせず、お茶を出して温かく迎えてくれます。



Kayoko Takano

安心して子どもを預けられる子育てしやすい村です

充実した子育て環境と人とのつながり

――高野さんは専業農家に嫁いで子育てをしていますが、鮫川村の子育て環境はどうでしょうか。

高野　子育てしやすい環境だと思います。幼保一体というだけでも送り迎えの手間が減ります。また、先生方もみんな知っているので、安心して保育を受けることができます。

関根　夕方、一時間でも遅く子どもを預かってくれるかどうかで、親としては全く違います。この子育て環境を維持してほしいと思いますね。

阿久津　確かに他市町村と比較しても、すばらしい子育て環境だと感じます。こどもセンターは、全国に胸を張れるくらいだと思います。

――関根さんは、商工会青年部としてさまざまな活動に取り組み、地域との関わりも多いかと思いますが、その中で見えてくる魅力はありますか。

関根　鮫川村のいいところとしては、人口が少ない分、いろんな人の声が通りやすいということがあると思います。なので、間口を広げて、村の取り組みの中に若者の声を吸い上げられるような環境があるといいです。

　また、青年部の活動を通して、少ない人数だからこそできることがあると感じています。何かをやるにしても少数精鋭であうんの呼吸でできています。人数が多いから何か大きいことができるとは限らず、少ない人数でやっていると、どこからか新たな力を引っ張ってきてくれます。最近では、そういった取り組みを広域で連携していて、横のつながりに力を入れています。今後も、そういったつながりを



Syuji Akutsu

訪れないと味わえない里山の美しさがある

大切にして、いろんなことに取り組んでいきたいと思います。

村長　皆さんのような若い人たちが、鮫川村に対して自信を持って生活していることは、とてもありがたいことです。ぜひ、皆さんのような仲間をたくさん作ってください。

皆さんの声を村政に　村づくりは次の段階へ

――最後に、それぞれの夢や願いをお聞かせください。

関根　矢祭町に「もったいない図書館」がありますが、その反対で普通の図書館では読めないような高価で専門的な本を図書館に置いてほしいです。子どもたちにとっても、本を読める環境は大切だと思います。いろんな本に触れる機会を作ってあげたいです。

阿久津　村外の人で農業をやりたいという人を受け入れて、いずれは独立させるという仕組みを作れればいいなと考えています。そうすることで、少しでも農業経営者が増えることにつながるのかなと思います。

村長　阿久津さんのような若い農業経営者に頑張ってもらって、次の世代につないでほしいです。

遠山　四月から緑川シンヨさん（内ケ竜）に「シンヨ漬け」の作り方を直接教えてもらって、レシピ作りをしていました。そのレシピを見ただけで、初めて作る人でもシンヨさんの味を出せるかが気になります。

　また、鮫川村に来てから、いろんな人たちにお世話になりました。残り三カ月で、自分なりに少しでも恩返しをしていきたいです。

高野　子どもたちが健やかに成長してくれることが一番の幸せです。農作業の手伝いをするようになって、なるべく農薬を使わないで育てたものを食べさせたいと思っています。お義母さんからいろいろ教わって、安心・安全な野菜を作っていきたいと思います。

議長　住んでみたい住んでよかったと思える村づくりをしていきたいと考えています。そのために、村議会として行政に提案していきたいと思います。それが議員の役割です。地域に入って村民の意見を集約して、それを村政に反映していきたいです。

――それでは、最後に大樂村長の夢をお聞かせください。

村長　今年は、第四次鮫川村振興計画の策定の年です。大字ごとに地域懇談会を実施するので、それぞれの地域で皆さんの夢を意見として出してもらいたいです。そして、皆さんの声を反映した振興計画を策定し、人が集まる村づくりを実現していきたいと思います。

――新しい年二〇一四年が飛躍の一年になることを願って、座談会を終わりにしたいと思います。本日は、ありがとうございました。


Saburo Maeda

地域に入り村民の意見を行政に反映させたい


Katsuhiro Dairaku

皆さんの夢を集約させた次なる振興計画を策定します

第25回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会

村の誇りを胸にタスキをつないだ95・1キロ

総合32位
村の部6位

第二十五回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）は十一月十七日、白河市陸上競技場をスタートし、県庁前をゴールとする十六区間、九十五・一キロのコースで開催され、鮫川村チームは総合三十二位と健闘しました。

今大会は、史上初となる県内全市町村が参加し、五十三チームがタスキをつなぎました。

鮫川村チームは、中学生の若い力を中心とし、それを経験豊富な高校生と一般の選手がまとめるというチームで挑みました。大会当日は、選手一人一人がベストを尽くし、村の誇りを胸にタスキをつなぎました。また、三区を走った目黒司さん（鮫川中三年）、七区の須藤康太さん（同三年）、九区の岡部花歩さん（同二年）が村の部区間賞を獲得し、中学生の活躍が光りました。



団結し懸命にタスキをつないだ鮫川村チーム

区間賞



目黒 司さん（写真左）
ふくしま駅伝で走るのは今回で３回目です。これまでは緊張しながら走っていましたが、今年は３年生ということもあり、「チームに貢献しよう」という思いで落ち着いて走ることができました。

岡部花歩さん（写真中央）
昨年は補欠だったので初めて走りました。当日は、練習の成果を出すことができました。区間賞を獲れるとは思っていなかったので、うれしいです。来年もふくしま駅伝に出場したいです。

須藤康太さん（写真右）
当日は沿道の応援のおかげで緊張せず、気持ち良く走ることができました。走る前から区間賞を狙っていたのでうれしいです。また、総合順位で５位になれたことに驚きました。







1．第８回全国学校給食甲子園に応募した献立
2．「タニコー賞」の盾を持つ芳賀公美栄養技師（写真右）と鈴木ひろ子主任調理員（写真左）
3．決勝大会で調理をする２人

【協賛企業賞】
タニコー賞

第8回全国学校給食甲子園

鮫川村の特色出した献立で「タニコー賞」を受賞

「地域に残る給食」で決勝大会入賞

地産地消給食のおいしさや栄養価などを競う「第八回全国学校給食甲子園」は十二月七日、八日、東京都内で行われました。北海道・東北ブロック代表として二年連続四度目の決勝大会出場を果たした鮫川村学校給食センターは、調理器具の有効活用に優れているとして、協賛企業賞「タニコー賞」を受賞しました。

同センターは、「地域に残る給食」をテーマに、衣に砕いた大豆を混ぜた「まめみそカツ」、村アイディア料理コンテスト入賞作品の「彩りすいとん」、郷土料理の「じゅうねんあえ」など、鮫川村の特色を出した献立で大会に臨みました。

決勝大会には、全国から二千二百六十六の応募があった中から書類審査を通過した十二施設が出場。制限時間一時間の中で調理をし、栄養バランスや調理技術、衛生管理、地場産物の活用などの観点で審査が行われました。

食材のおいしさを子どもたちに

大会に出場した芳賀公美栄養技師と鈴木ひろ子主任調理員は、計十三回の練習を行い、衛生面の確認や作業手順、器材の見直しを重ねてきました。そのようにして挑んだ大会当日を振り返り、「これまで四回出場していますが、それでも緊張しました。調理技術も厳しく審査されていると感じ、さらに細かいところまで神経を使わなければいけないと思いました」と芳賀栄養技師は話しました。また、鈴木主任調理員は「芳賀さんが地元の食材にこだわった献立で大会への出場権を得て、鮫川村を広くアピールしてくれていることに感謝しています」と話しました。

今後、この経験を生かし献立作成や衛生管理だけでなく、地元食材のおいしさを最大限に生かした給食を子どもたちに提供できるよう、調理技術も向上させたいと意気込んでいます。

民生委員・児童委員を委嘱しました

任期満了による民生委員・児童委員および主任児童委員の一斉改選で、新しい委員に厚生労働大臣および福島県知事委嘱状が大樂村長から伝達されました。任期は、平成25年12月1日から平成28年11月30日までの3年間です。

民生委員は、行政および社会福祉関係機関と連携をとりながら、担当地区の生活上の相談や福祉サービスの情報提供などを行います。また、児童委員も兼務し、児童および妊産婦などの福祉の増進や児童の健全育成のための環境づくりにも携わります。

主任児童委員は、学校などの機関および担当地区の民生委員と連携しながら、村全域の児童の生活上の相談に携わります。

なお、改選に伴い退任された方々は次のとおりです。長年にわたり、社会福祉の増進のためにご尽力いただきありがとうございました。▼我妻トシ子（2期）、鈴木ヤヨイ（2期）、岡部みち子（3期）、鈴木ツヤ子（2期）、青戸カツ子（2期）、松本弘子（2期）、岡部喜一郎（1期）、長井太一（1期）、鈴木米子（2期）

民生委員・児童委員


須藤一兄・再（赤坂西野）


矢吹さつき・再（赤坂西野）


本郷 長・再（西山）


須藤カヨ・新（西山）


鈴木ミチ子・新（赤坂中野）


鈴木三起子・新（赤坂中野）


橋本ミチ子・新（赤坂中野）


宗田 豊・再（赤坂東野）


小森洋一・再（赤坂東野）


須藤幸子・再（赤坂東野）


石井 榮・新（富田）


青戸代吉・新（富田）


芳賀正訓・再（渡瀬）


藤田俊一・再（渡瀬）


堀川信四郎・新（青生野）


森田重男・新（青生野）

主任児童委員


清水国明・再（赤坂東野）


菊地朋子・新（渡瀬）

仮設焼却施設周辺 空間線量の測定結果

村仮設焼却炉監視委員会では、毎週金曜日に仮設焼却施設周辺の空間線量を測定しています。なお、仮設焼却施設周辺の空間線量測定結果と関連ファイルについては、村および環境省のホームページで公表しています。

問 村地域整備課環境係 ☎49-3196

■施設周辺の空間線量（12月19日実施） ［μSv/h］

モニタリングポスト測定値	測定箇所	測定値
	仮設焼却炉入口	0.11
	青生野小学校	0.12
	朝日山登山道入口	0.11
	青生野肥育組合	0.15
	鹿角平観光牧場	0.09

仮設焼却炉周辺の測定値	測定箇所	測定値
	施設東側 120m	0.13
	施設南側 120m	0.17
	施設西側 120m	0.16
	施設北側 120m	0.21
	仮置場看板付近	0.11
	石久保線起点	0.14
	石久保線終点	0.15
	和協管理棟付近	0.15

鮫川村奨学基金
奨学生を募集します

問 村教育委員会教育課教育総務係
☎49 - 3151

村教育委員会では、鮫川村奨学基金の奨学生を次により募集します。

募集期間　平成26年２月17日（月）～３月31日（月）

応募資格　▶品行が正しく、学術に優れ、身体が強健である方▶鮫川村に引き続き５年以上住んでいるか、住んでいたことがある方▶高等学校、高等専門学校、大学などに在学または今春入学予定の方▶経済的理由により修学が困難と認められること▶国や他の団体から同種類の奨学金の貸与または給与を受けていないこと

貸与月額　▶高等学校・各種学校（１～３年）…２万円以内▶高等専門学校…５万円以内。ただし、第３学年までは２万円以内▶大学院および大学・短期大学・専門学校…５万円以内

貸与始期・期間　平成26年４月から、在学する学校の正規の修学期間

奨学金の償還　▶貸与は無利子で、卒業後６カ月から毎月、10年以内に償還すること（全部または一部を一時償還することができます）▶大学および大学院を卒業後、鮫川村に居住し、農林水産業に10年間就業した方は奨学金の返還が免除されます。

奨学生の決定　選考委員会で願書の内容を審査し、奨学生を決定します。

農産物等放射性物質測定結果

村内で栽培・採取された農産物等の放射性セシウム測定結果を公表します。結果はあくまでも参考値ですので、目安としてください。

また、村では現在も放射性物質の検査を受け付けています。ぜひ、ご利用ください。

【注釈】
①放射性セシウムは134と137の合算値です。
②検出限界値未満を「不検出」と表示しています。
③空欄は測定実績がありませんでした。
④同じ地区で複数ある場合は、最小値と最大値を表示しています。

11月16日～12月13日検査　［ベクレル/kg］

検査試料	赤坂西野	西　山	赤坂中野	東　石	富　田	渡　瀬	青生野
里芋	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
ジャガイモ		不検出～9	不検出				
白菜	不検出			不検出～7	不検出		不検出
豆類	不検出～12	不検出～7	不検出	不検出～6	不検出～8		不検出
キクイモ	不検出	不検出					
コンニャク芋		5		不検出		不検出	
ネギ		不検出		不検出	9		
人参				不検出			不検出
干し柿	不検出		不検出				
キウイ		不検出		8			
大根		不検出					
柿	不検出		不検出				
菌床ヒラタケ	不検出	不検出					
イモガラ(乾燥)	5	不検出～5		10			
イノシシ肉	91～132	35	195	192～1208		47～334	468～1962
木の葉	66～617	200～325	151～176	不検出～242	37～65	154～176	136～386

■問い合わせ　村農林課☎49-3114

地域活性化のために活動をします

地域おこし協力隊・岡部良典さん着任

都市部の人材を取り入れ地域活性化を図る「地域おこし協力隊」として、十二月十日に岡部良典さんが着任し、同日、役場村長室で委嘱状交付式が行われました。

地域おこし協力隊とは、地方が地域外の人材を受け入れ、各種の地域協力活動に従事してもらうものです。また、その定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化につなげる目的があります。

岡部さんは、「手・まめ・館」を中心に活動を行います。長年、百貨店に勤務した経験を生かし、今後、販売・運営のほか新商品開発や販路拡大などに取り組んでいきます。

経験を生かし貢献したい

以前から地域に貢献できることはないかと考えていました。そして、百貨店での経験が役に立つのではないかと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

鮫川村に足を運んでもらえるような新商品の開発や販売の仕方、情報発信などをしていきたいと思います。

「まめ」に精力的に働き、動き回りますので、よろしくお願いします。



●プロフィール

おかべ・よしのり

昭和35年4月生まれ。石川郡古殿町出身（応募時の住所は東京都杉並区）。大学卒業後、百貨店に勤務。主に販売事務や店頭マネジメント、販売促進企画などに携わる。

商品を自宅までお届け 買い物弱者0（ゼロ）をめざして

「すまいる」が宅配・移動販売を開始



注文いただいた商品を自宅までお届けします

買い物弱者支援や地域活性化などを目的とした村民（みんな）の店「すまいる」では、十二月十七日から宅配・移動販売を開始しました。

利用方法　配布されたチラシなどを見て、必要な商品を運行日前日までに電話またはファックスで注文します。※運行日および時間については、右表のとおり

料金　配達は無料です。また、商品については、代金と引き換えになります。

配達可能商品　弁当や食料品、日用品など店舗で扱っている商品全般

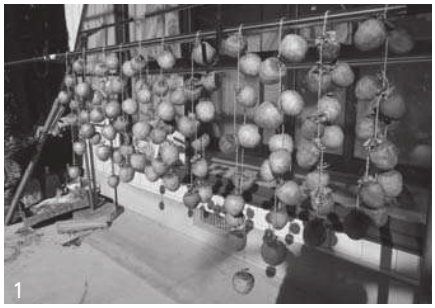
問　村民（みんな）の店「すまいる」☎57-6901／FAX57-6902

■「すまいる号」運行表

曜日	対象地区	時間
月	富田・渡瀬・青生野	午前10時〜午後3時
火	赤坂東野・石井草	
水	西山・赤坂西野	
木	村内全域（※）	
金	赤坂中野	

※受付順に運行します。また、第一木曜日は定休日のため運行しませんので、ご了承ください。

moe・ryoku／緑のふるさと協力隊・遠山陽子さんの鮫川村体験記





1．初めて挑戦した干し柿づくり。むいた柿を軒下にぶら下げました。
2．阿久津清次さんのお手伝いで、大豆の脱粒作業を体験しました。





3．脱粒された大豆。今年はいい大豆が多いという話を聞きました。
4．関根のぶ子さんに餡子の作り方を教えてもらいました。

あっという間だった2013年

あけましておめでとうございます。あっという間に年があけました。気持ちも新たに、風邪に気を付けて残りの日々を過ごしていきたいと思います。

渋柿をいただいたので干し柿づくりに挑戦しました。四日がかりで皮をむいたのですが、さすがに飽きます。でも、あちらこちらでたくさんの干し柿がぶら下がっているのを見ると、まだまだ根を上げるには早いと思いながらむき続けました。全て終わってぶら下がっている柿を見たときには、達成感と食べられるようになるのが楽しみな気持ちでいっぱいになりました。早くできないかなぁ～。

前回は初めての脱穀でしたが、今回は初めての脱粒を経験させていただきました。機械に通すと丸々とした大豆が出てくるのは、お米のとき以上に不思議でした。脱粒したばかりの大豆を一粒つまみ食い。味はやはり炒り豆の方がオイシイです。でも、この大豆が味噌や納豆、豆腐などになるのだから大豆はすごいと思うと同時に、これだけさまざまなものを作ることができることが不思議でした。

先日、餡子の作り方を教えていただきました。餡子はお店でも売っていますが、作るのが好きな私としてはきちんと作り方を知りたいと思って教えていただきました。なぜあのつぶつぶの豆からこしあんができるのか、今までは不思議でしたがようやくわかりました。練っているうちに餡が重くなって焦げつかせないようにするのは大変でした。でも、出来上がった餡を見たらそんな気持ちもどこかに行ってしまいました。この餡で何を作るかはまだ考え中です。

先月はフォトコンテストがあり、アイディア料理コンテストに続いて参加させてもらいましたが、入賞はできませんでした。しかし、すてきな写真ばかりで、普段はまじまじと写真を見ることがない私も、このときばかりはじっくり写真を眺めていました。きれいな紅葉の写真やほのぼのとする写真、鮫川村に来て初めて経験した雪が積もっている写真、そんな写真を見ていたら本当に一年はあっという間だと改めて感じました。



特選（鮫川村長賞）

僕らの「ふるさと」
中川 司さん（いわき市）

藤の花と鮫川牛
千原武和さん
（郡山市）

準特選
（福島民友新聞社賞）



秋陽輝く
吉田正也さん
（矢吹町）

準特選
（福島民報社賞）



さめがわの四季の移ろい

第５回鮫川村フォトコンテスト入賞作品紹介

第５回鮫川村フォトコンテストの審査会を12月３日、村公民館で開催しました。「鮫川村の四季を感じる風景」をテーマとし、村内外から77人、150点の応募がありました。加藤明県写真連盟副会長を審査委員長に３人が審査した結果、中川司さん（いわき市）の『僕らの「ふるさと」』が特選に輝きました。入賞作品は、鮫川村ふるさとの四季カレンダーや観光パンフレットなどに活用します。

入選



「今日は、いくつ咲いた？」
芳賀愛子さん（渡瀬）



早苗の頃
角田駒雄さん（いわき市）



嬉しい春
柏舘 健さん（いわき市）



「里山の冬」
高橋順一さん（いわき市）



収穫
長谷川錦治さん（いわき市）



夏色
鈴木亜希子さん（赤坂西野）



鹿角平の夜明け
近藤広章さん（白河市）



冬の光景
森谷祐治さん（いわき市）



冬の天体観測
山内壮介さん（棚倉町）

佳作



紅の流れ
吉間 孝さん（郡山市）



大観衆の前で
中川久子さん（いわき市）



ちびっこ相撲
中川秀男さん（いわき市）



晩秋の映り込み
佐渡谷ミチ子さん（いわき市）



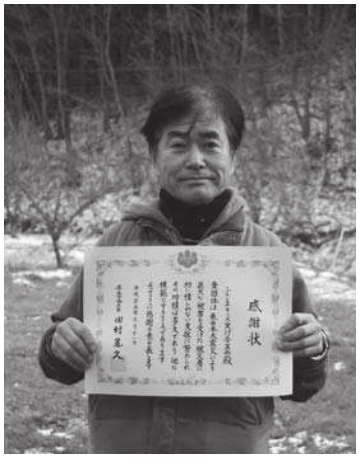
里を見守って
池田智恵子さん（泉崎村）

歌や劇を元気に発表
こどもセンターお遊戯会


練習の成果を披露する園児たち

さめがわこどもセンターのお遊戯会は12月７日、同センター体育館で開かれ、子どもたちが日ごろの練習の成果を元気に披露しました。クラスごとに劇を発表したほか、幼稚園児による歌と合奏、得意技などが次々と披露され、会場は拍手でわきました。

震災復興に尽力
ふくしまキッズ実行委に感謝状


厚生労働大臣感謝状を持つ進土委員長

ふくしまキッズ実行委員会は、震災復興に尽力したとして厚生労働大臣感謝状を受けました。授与式は11月20日に県庁で行われ、進士徹委員長に表彰状が手渡されました。また、同団体は12月４日に毎日新聞社グリーンツーリズム大賞特別賞を受賞しています。

むし歯のない子は６人
11月20日実施の３歳児健診

11月20日に村保健センターで実施した３歳児健診で、むし歯のなかったお子さんは、受診児７人中６人でした。



佐々木歩夢（あゆむ）くん
①渡瀬字木之根
②父・敦さん、母・明子さん
③自分で歯みがきをして、パパやママが仕上げみがきして頑張っています。



水野 咲希（さき）ちゃん
①西山字水口
②父・至さん、母・幸枝さん
③歯みがきと仕上げみがきを嫌がらずに頑張りました。



木之内瑛斗（えいと）くん
①渡瀬字木之根
②父・佳輔さん、母・清子さん
③兄弟みんなで仕上げみがきを頑張っています。



金澤 愛葵（あいり）ちゃん
①赤坂東野字広畑
②父・剛士さん、母・知恵さん
③お気に入りの歯ブラシを使って、毎日頑張りました。



坂本 りこちゃん
①西山字鍛冶平
②父・直喜さん、母・ひとみさん
③毎日、お姉ちゃん・お兄ちゃんと歯みがきを頑張りました。



目黒 應春（おうしゅん）くん
①赤坂西野字本坂
②父・信一さん、母・扶美子さん
③みんなで声かけをして、忘れずに歯みがきをしました。

①住所／②保護者／③むし歯にならないために頑張ったこと

村政TOPICS

年末年始を無事故で「交通安全テント村」

交通安全協会鮫川支部と村交通対策協議会では、年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動初日の十二月十日、宿ノ入交差点で「交通安全テント村」を行いました。

棚倉警察署で出動式を行ったあと、通行するドライバーにチラシやティッシュを配り、年末年始の交通安全を呼びかけました。


交通安全を呼びかけたテント村

感謝の気持ち新たに「食と農の交流会」

学校給食の食材生産者と子どもたちがふれあう「食と農の交流会」は十二月四日、鮫川小と青生野小の両校で行われました。

子どもたちは生産者との給食を楽しみ、食の大切さを学びながら生産者への感

ほっとニュース





上…勢いよくスタートする選手たち
右…ゴールテープを切る西野チーム
アンカーの目黒選手

西野チームが５連覇
第24回鮫川村民駅伝競走大会

村体育協会主催の「第24回鮫川村民駅伝競走大会」は11月24日、渡瀬字福原地内をスタート、役場前をゴールとする10区間、21.17㌔のコースで行われました。

大会には、地区体育協会単位の７チームが出場。トップを走っていた中野チームとの差を徐々に詰め、西野チームが６区で逆転。見事、５連覇を達成しました。

成績は次のとおりです。

▶**総合順位**　①西野(1時間12分36秒)②中野(1時間16分34秒)③東石(1時間19分23秒)④富田(1時間22分50秒)⑤西山(1時間23分52秒)⑥渡瀬(1時間25分22秒)⑦青生野(1時間36分38秒)▶**区間賞**　１区…湯坐彩香(中野) ２区…鈴木悟(中野) ３区…北條佑奈(西野) ４区…中川西夢奈(東石) ５区…長久保拓仁(青生野) ６区…須藤康太(西野) ７区…関根清也(西山) ８区…江田和彦(西野) ９区…目黒翔(西野)10区…芳賀悠介(渡瀬)

午後４時になります…
冬休みの「声」は藤田さんと棚井さん



録音を行った藤田さんと棚井さん

冬休み期間中の夕方に流れる防災無線の「冬休みの声」を担当しているのは、青生野小６年の藤田琉那さん(写真手前)と５年の棚井未有さん(写真奥)です。12月11日、役場放送室で録音を行った２人は「緊張せずにじょうずにできた」と話しました。

日ごろの活動成果を披露
文化芸能発表会



練習を重ねてきた踊りが披露された

村ふる里文化芸能クラブ主催の文化芸能発表会は11月23日、村公民館で開かれ、文化団体や個人が日ごろの活動の成果を披露しました。発表会では、歌や踊り、カラオケなどが次々と披露され、会場に訪れた観客を楽しませていました。

村政TOPICS

文化の香り高い村へ
文化祭作品展示

村文化祭行事の一環として「文化祭作品展示」が十一月二十九日から十二月三日までの六日間、村公民館で行われました。

会場には、村内の文化団体や個人、社会学級生、児童生徒などの作品が数多く展示されました。来場者は、感心しながら作品を鑑賞している様子でした。



数多くの作品が並んだ展示会場



食の大切さを学んだ交流会

謝の気持ちを新たにしました。

村民【随想】リレー ―― 186

鈴木 光さん

何となく

新年あけましておめでとうございます。

新年一発目。そして、文章を書くことが苦手なのに何を書くのかというプレッシャーを感じながら…。

私は、何となく高校を卒業して、何となく就職して何となく辞めました。そして、最初は嫌々でしたが、家業の工務店で仕事をするようになりました。嫌々始めた仕事ですが、今では自分に合っていると感じています。

仕事の関係もあり、商工会青年部に誘われ入りました。やはり最初は嫌々でした。しかし、活動をしていくうちに青年部の良さを知りました。大変な活動をした後の酒はうまい。ここで一応言っておきますが、「青年部の活動＝酒飲み」ではありません。青年部の活動を通して、微力ではありますが鮫川村や地域に少しでも貢献できればと考えています。

私生活では、四歳の娘と一歳の男女の双子に恵まれ、毎日奮闘しています。日々、成長する子どもたちに負けないように一緒に成長していけたらと思います。

仕事も親としても、まだまだ未熟者ですが、毎日少しずつでも前に進んでいけたらと思います。

私の置かれている環境は、何となく恵まれていると感じます。■

次は、関根涼佳さん（西山字水口）にバトンタッチ！



すずき・みつる●昭和56年３月生まれ。赤坂西野字大塩在住。家業の香和工務店（赤坂西野字大塩）で働く。趣味は音楽鑑賞。モットーをもたないことがモットー。

MITSURU SUZUKI

俳句

秋手術名物髭を剃りおとす　中井　恒峯
山眠る受診帰りの月明り　松本　精一
運搬車四季を通してフル稼働　北條素人坂
山路きてあっけらかんと冬の虹　土　竜庵
霜とけて葉末の露に陽がはねる　黒田　寿香
雪吊りの職人技や亡父の影　山本　恵子
湯布院へ白き芒の道標　前田　縫子
悠々と流れにそうて鴨の群　斎須　信子
咲き残る小菊に蜂が群れあそぶ　鈴木　米子
南海に島生（あ）るるとう冬の虹　山本五十鈴

短歌

形良き双葉を残す真っ直ぐに太る大根作らむがため　鈴木イミ子
年を惜しむ小春日和の縁に出て仰げば白き昼の月あり　佐藤　春枝
今日も又土の光に魅せられて足を運べば小鳥の迎う　矢吹　定子
如何ならむ木々にも花や実のありて一年の結びに迎える寒さ　須藤　幸子
芽を覗かせ春を待つようなプランター何か明日への希望を眺めて　水野　珠子
外に出て働く孫のいつしかに逞しくなりて言葉少なし　関根　瑞恵

さめがわを彩る集い22

誰でも気軽にスポーツができる環境づくりを



さめがわスポーツクラブ

阿久津光市代表／スタッフ16名

市町村ごとにスポーツクラブをつくるよう県が推奨していた中、平成二十二年にさめがわスポーツクラブが設立されました。子どもから高齢者までが気軽にスポーツ活動に参加できる環境を目指して、地域活性化や健康増進につなげることを目的として活動しています。

クラブでは、グランドゴルフやスイミング、サッカーなど、十種以上の教室や一流選手の指導を受けることができるイベントなどを開催し、さまざまなスポーツに触れる機会を提供しています。

今後は、絵画などの文化的な活動を取り入れることを検討しているほか、行政や各種団体と連携を取りながら、さまざまなスポーツを積極的に取り入れていきたいと話します。さらに、子どもや高齢者とふれあうことが好きな人にスタッフとしての参加も呼びかけています。

Book

図書の缶詰
図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎ 29-1150

美しい一汁二菜
(久保香菜子著、河出書房新社)



日本の伝統的な食文化が無形文化遺産に登録されました。定番のおかずを主菜にし、副菜、汁、ごはんで一汁二菜の献立を作りませんか。毎日の食事をよりおいしく、より美しく仕上げるコツを教えてくれます。

たびはみちづれ
(五味太郎著、クレヨンハウス)



ウマ年のあなたに！　ウマ年生まれの人は、おおらかで明るく、社交的で世話好きなところも…。一人旅をしているウマさんは、いろんなみちづれと出会い、旅を続けます。
パコ　パコ　ポコ　パコ

第３土曜日は 家族一緒に読書の日

運勢とは自分で作るものという朝の流れに心を映す　溝井　清乃

生きているしるしともいう働ける日々の幸せわれにもありて　坂本　伊紀

陽の差せば光るみどりの木の梢に秘かに貰う元気の素を　一平　子

降る雪に足の取られて立ち止まるをすぐに駆け寄る曾孫優しく　石井　幸子

農終わり神に感謝の膳供え家族で乾杯刈り上げ十日を　須藤シツエ

晩秋の窓辺になごりの風鈴も猛暑を偲び淋しくむせぶ　松本　一郎

毎年の皇室カレンダー有り難くお姿拝し過ごせる幸せ　前田喜三子

野も山も四季折々に色変えし木の葉散らして眠りにつくらし　関根ヨネ子

秋深む寺院の紅葉鮮やかに鍬の手休みしばし眺める　藤田千代子

山川の自然豊かな鮫川に歳を重ねて春を待つなり　関根ハナヨ

一年の労をねぎらう玉納めゲートボールの賑わい終わる　関根　富久

年の瀬の友を見舞いば元気良く事業の話題に時の過ぎるも　板橋　源良

入山の最後の日なる尾瀬沼の夕日を映すテレビに見入る　関根キヌ子

原発と五輪とを天秤に掛ける策歓喜の中に福島の沈む　矢吹　一二

風に乗りふんわり雪虫やって来たもうすぐ雪が降って来るよと　北條　平

あなたの光る技
キラり
Vol.18

生玉こんにゃく作り
鈴木ヤヨイさん
すずき・やよい／西山字馬場／69歳

こんにゃくの出来を左右するのは長年の経験から得た感覚


収穫したこんにゃく芋。在来種はノリが強いのが特徴。

お孫さんから好評だという鈴木ヤヨイさんが作る「こんにゃく」。こんにゃく芋は在来種を栽培し、三年から四年目のものを使います。

作り方は、お姑さんが作るのを見て覚えました。しかし、水の分量などは全て目分量のため、試行錯誤を繰り返したといいます。収穫したこんにゃく芋の皮をむいて切り、お湯を加えてミキサーにかけます。その後、取り水に入れて塊が残らないよう、まんべんなくかき混ぜます。そこへ炭酸ソーダ水を加えてバットに入れ、三時間程寝かせます。ヤヨイさんは生合わせなので、そのまま煮て、水で冷やして完成となります。

こんにゃくの出来を左右するのが水の分量。こんにゃくの乾燥具合で微妙に分量が変わるので、そこを見極めるのは長年の経験です。かき混ぜながら、その感触で水の分量を調節します。「この加減を覚えるまで、いろいろ失敗もして大変だった」とヤヨイさんは話します。

「ばあちゃんが作るこんにゃくは刺し身でも煮てもおいしい」とお孫さんのお墨付きです。


かきまぜる感触を頼りに、水の分量を調整します。この感覚は長年の経験のたまものです。

若者の広場　No.109

Young Plaza

水野暁隆さん



みずの・あきたか
平成３年５月14日生まれ　22歳
Ａ型　おうし座
趣味はスノーボード
赤坂東野字官代在住

田舎には田舎の良さがある

■今、夢中になっていることは何ですか？

社会人になってから始めたスノーボードです。友達と一緒に始めたのがきっかけで、今シーズンも滑りに行こうと思っています。

■これから新たにやってみたいことや目標はありますか？

友達に誘われたので、水上バイクの免許を取ってみたいと思います。あとは、車いじりを覚えて自分でできるようになりたいです。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

自然が豊かなところが鮫川村の良さだと思います。元々、ガヤガヤしている所が好きではないので、都会みたいにビルが立ち並んでいるよりは、鮫川村みたいに緑があった方が落ち着きます。田舎には田舎の良さがあると思います。

■鮫川村に要望などはありますか？

「すまいる」ができて、仕事帰りに寄って買い物ができるので便利だと思います。そのほかにも店が増えれば、わざわざ遠くまで行く必要がなくなるので良いと思います。

■

次は関根拓也さん（西山字余所内在住）の予定です。

学校だより

(111)

鮫川中学校編

村内の幼小中高校が連携

十一月二十二日、村内幼小中高校の教員が一堂に会し、学力向上を目指して「SUN3プランさめがわ授業研究会」を行いました。

授業研究では、社会、英語、保健体育の授業を行いました。どの授業も生徒たちは熱心に活動し、集中して取り組んでいました。その後の各教科部会では、授業のさらなる工夫改善と各校の教科指導の取り組みを報告し、幼小中高の連携について協議しました。特に、保健体育部会では、家庭学習や携帯電話の問題などについて協議しました。

鮫川村の子どもたちの育成のために、村内幼小中高の教員が一丸となって研究を深めました。



地域の方々に感謝

■絵本の読み聞かせ

金曜日の朝、おはなしポケット（須藤幸子代表）の皆さんに絵本の読み聞かせをしていただいています。



■書道教室

十二月三日から五日までの三日間、特別非常勤講師として観音寺住職の津田彰夫さんに書き初めの指導を受けました。生徒たちは、筆運びを学び、集中して作品を書いていました。



■全校朝会での講話

鮫川村をより知らせたいということで、十二月九日の全校朝会で齋須寛一さんに鮫川とカジカについて講話していただきました。



（文・写真／鮫川中学校）

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

催し

子どものうつ病を知る

「うつ病」は大人に限らず子どもにも見られる病気です。子どもの場合、頭痛や腹痛、成績の急激な低下、非行などの背景にうつ病があることがあります。子どもの変化に気づき、さらに適切な対応ができるように子どものうつ病について学ぶことができる機会です。

日時 平成26年1月24日（金）午後1時30分～午後3時30分

場所 郡山市音楽・文化交流館「ミューカルがくと館」大ホール

定員 120名（先着順とし定員になり次第締め切りとなります）

申し込み方法 平成26年1月17日（金）までに役場住民福祉課福祉係にある申込用紙に必要事項を記入の上、県精神保健福祉センターまで申し込んでください。

問 県精神保健福祉センター☎024-535-3556／FAX024-533-2408

保健・福祉

県民健康管理調査 問診票「簡易版」を作成

県と県立医科大学では、震災後4カ月間の外部被ばく線量を推計する基本調査について、さらに記入・回答しやすい問診票の「簡易版」を作成しました。

この簡易版は、避難などの移動回数が少ない方が利用できます。簡易版で回答できるかどうかは調べることができますので、お問い合わせください。なお、簡易版は役場住民福祉課健康係で準備していますので、気軽に申し出てください。

基本調査の結果は、一人一人にお知らせしますので、皆さんの将来の健康管理のために、提出することをお勧めします。

問 県立医科大学放射線医学県民健康管理センター☎024-549-5130（土・日・祝日を除く午前9時から午後5時まで）／村住民福祉課健康係☎49-3112

がん検診無料クーポン券 有効期限は1月31日まで

村では、特定の年齢に達した方に対して、乳がん検診・子宮頸がん検診の検診費用が無料となる「無料クーポン券」を配布しています。受診していない方は、有効期限までに指定医療機関に予約をして受診してください。

有効期限 平成26年1月31日（金）

指定医療機関 塙厚生病院☎43-1145

問 村住民福祉課健康係☎49-3112

8日は 歯の日

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。

1月の担当は――鮫川幼稚園

生田目真歩（まお）ちゃん
須藤 充稀（みつき）くん
関根愛架哩（あかり）ちゃん
中川西 悠（ゆう）くん
石井陽南乃（ひなの）ちゃん



■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎ 0247-49-3111
FAX 0247-49-2651

住民福祉課	
健康係	49-3112
住民係・福祉係	49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
地域整備課	
建設係	49-3116
環境係	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（保育園・幼稚園）	29-1010
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手･まめ･館	49-2556
山王の里	48-2848

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

■今月の納税
後期高齢者医療保険料:第6期
※納期限：1月31日(金)

information

募集

「統計の日」標語を募集

総務省では、10月18日の「統計の日」を周知するため、標語を募集します。

募集テーマ　「統計は社会の動きを知り、生活を豊かにするためにとても大切なものです。このため、統計調査に協力することはとても大事です」といった趣旨を反映した作品

応募資格　小学生以上および一般の方、統計調査員などの統計関係者

募集期間　平成26年2月3日（月）～3月31日（月）

応募方法　応募用紙に必要事項を記入の上、1人5点まで応募できます。小学生以上および一般の方は、総務省政策統括官室へメールまたはファックスで提出してください。統計関係者の方は、市町村統計担当部署へ提出してください。

問　総務省政策統括官付統計企画管理官室☎03-5273-1144／FAX03-5273-1181／Eメール touke inohi@soumu.go.jp

案内

職場のトラブル解決をサポートします

福島労働局では、職場でのトラブルに悩んでいる方やトラブルの発生が心配な方、人事・労務などで疑問を持っている方などの相談に応じます。最寄りの白河総合労働相談センターに気軽にご相談ください。

問　白河総合労働相談センター☎0248-24-1391

税務職員を装った不審な電話にご注意

国税局や税務署の職員を名乗る者から電話があり、アンケートや年金受給調査と称して、年齢や家族構成、年金の受給状況、預金残高、口座情報などについて聞き出そうとする事例が発生しています。

不審な電話があった場合は即答をせず、相手の所属部署や氏名、電話番号を確認した上で電話を切り、最寄りの税務署にお問い合わせください。

問　白河税務署☎0248-22-7111

原子力損害賠償手続き弁護士がお手伝いします

県では、原子力損害賠償について弁護士による法律相談を行っています。相談は無料で、事前予約が必要となります。請求手続きにおける不明な点など、どんなたでも相談できますので、ぜひご利用ください。

日時　1月16日（木）、23日（木）、30日（木）　午後1時30分～午後3時50分

場所　白河商工会議所

予約受付番号　☎024-523-1501（平日の午前8時30分から午後5時15分まで）

問　県南地方振興局☎0248-23-1506

障がいのある方の職場体験などにご協力ください

福祉施設や特別支援学校では、障がいのある方々の一般企業や自営業（農業・畜産・商店）などの職場体験の受け入れ先や福祉施設への内職を提供してくれる企業を探しています。

■職場体験の目的

障がいのある方が企業を知り、働く実感を得るため

■職場体験の内容

業務内容や時間、期間などは企業と相談の上、決定します。※万が一の事故やけがについては、本人加入の保険で対応します。

■企業のメリット

社会貢献や社員教育のほか、障がい者雇用を検討している企業は労務管理のノウハウが蓄積できます。

■内職の内容

作業の一部や外部に委託している作業を福祉施設が責任を持って請け負います。作業単価や納品方法などはご相談ください。

問　村住民福祉課福祉係☎49-3113

緊急時の駆け込み通報設備を設置

平成25年4月1日に開始した白河広域市町村圏消防本部消防指令センターの業務に併せて、棚倉消防署鮫川分署に「駆け込み通報設備」を設置しています。火災や救急などの緊急時に消防指令センターにつながる「119番直通電話」です。受話器をあげると通信員と通話ができますので、緊急時にご利用ください。



問　棚倉消防署鮫川分署☎49-2119

January
1

㊡＝休日当番医　［公］＝公民館　［図］＝図書館　［保］＝保健センター
［ト］＝農業者トレーニングセンター　［こ］＝こどもセンター

火	水	木	金	土
	1/1 元旦 ㊡和田医院（棚倉町） ☎33-2012 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●手・まめ・館定休日 ●「すまいる」定休日	**2** ㊡東舘診療所（矢祭町） ☎46-3165 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●手・まめ・館定休日	**3** ㊡大木医院（棚倉町） ☎33-2424 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	**4** ●消防団出初式… 9:30～［公］
7 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	**8** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00［保］ ●幼稚園、小・中学校 第３学期始業式 ●おはなしの森… 16:00～［図］	**9** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面）	**10** ●筋力づくり教室… 10:00～15:00［保］	**11**
14 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	**15** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●やまぶきの会… 10:00～15:00［保］ ●やまゆり保育室［こ］ ●おはなしの森… 16:00～［図］	**16** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00［保］	**17**	**18**
21 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	**22** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00［保］ ●やまゆり乳児室［こ］ ●おはなしの森… 16:00～［図	**23** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面）	**24** ●筋力づくり教室… 10:00～15:00［保］	**25**
28 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●10カ月児健診・お母さんの口腔健康相談… 9:30～［保］	**29** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00［保］ ●おはなしの森… 16:00～［図］	**30** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面）	**31** ●筋力づくり教室… 10:00～15:00［保］ ●後期高齢者医療保険料納期限	**2/1**
4 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	**5** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●手・まめ・館定休日 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00［保］ ●おはなしの森… 16:00～［図］	**6** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面）	**7** ●筋力づくり教室… 10:00～15:00［保］	**8**

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

おくやみ

11月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
官代	前田　テル	11. 6	93歳
反田	松本ミツイ	11.23	78歳
丸谷地	大森　共衛	11.27	88歳

人の動き

12/1現在・（　）は前月比

人口	**3,910**人	（＋ 1）
男	**1,960**人	（－ 1）
女	**1,950**人	（＋ 2）
世帯	**1,165**戸	（－ 2）

寄付寄贈

11月受理分・敬称略

■**社会福祉事業のために[金員]**…前田榮(官代)　松本一(反田)　大森敏雄(丸谷地)

※お誕生･おくやみ･寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●編/集/後/記

■新年あけましておめでとうございます。今年も信頼され必要とされる広報紙を目指し、皆さんと一緒につくっていきたいと思いますのでご協力よろしくお願いいたします。■新年の幕明けに、自分なりに今年一年の目標を立て、それに向かってまい進していきたいと思います。■生玉こんにゃく作りを教えていただいた鈴木ヤヨイさんが「私たちの世代は、自家消費用の生玉こんにゃくを作っている人はたくさんいる。でも、若い世代では作れる人がいないのではないか」と話していたことが印象的でした。鮫川村には、レシピなどでは伝えきれない技術を持っている人たちがたくさんいます。それらの技術を絶やさず後世に伝えていくために、「広報さめがわ」ができることを模索中です。　（前田）

暮らしのカレンダー

日	月
5 ㊡金澤医院(矢祭町)☎46-2312 *第1日曜日は環境美化の日*	**6** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●役場仕事始め
12 ㊡東白川中央医院(棚倉町)☎33-3263 ●第66回村成人式…10:00～[公]	**13** *成人の日* ㊡おおひら整形外科クリニック(棚倉町)☎33-9468 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
19 ㊡塙厚生病院(塙町)☎43-1145 ●文化財防火デー火災防御訓練…9:30～／真坂地内	**20** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●心配ごと相談…13:00～15:00[公] ●3～4カ月児健診・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院
26 ㊡木村医院(矢祭町)☎46-3528 ●第15回鮫川村民インディアカ大会…9:00～[ト]	**27** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●6～7カ月児健康相談…9:30～[保]
2 ㊡あらまちクリニック(棚倉町)☎33-8018 *第1日曜日は環境美化の日*	**3** ●図書館休館日 ●トレセン休館日



半世紀の歩み Episode_09

前田武久さん　フサさん

赤坂東野字官代在住／昭和38年11月結婚

初めて一緒にでかけたときのことを今でも覚えているというお二人。フサさんは、武久さんがまんじゅうをたくさん食べていたことに驚いたと笑います。

農業から転向し、建築業を始めた武久さん。家のことは全てフサさんに任せていました。その中で、15年間父親の自宅介護をしてくれたことに感謝していると武久さんは話します。また、「子どもと孫に恵まれて、子どもたちが近くにいることが一番幸せ」だといいます。

現在は、お子さんたちからの金婚祝いで旅行に行こうと考えています。これからは、自分の体を過信せず健康に気をつけて趣味の登山などを楽しみたいと話してくれました。

こちら 村長室

▼「一年の計は元旦にあり」。「一年の計画は、年の始めの元旦に立てるべきである。物事は最初の計画が大切である」ということです。▼昨年は、「一歩ずつでもいい、少しでも前へ進みたい」と思い努力しましたが、遠回りをしました。幾度となく立ち止り、後退、軌道修正を考えさせられましたが、そのたびに背中を押してくれたのが村内の子どもたちの活躍でした。▼読書感想文など各種作文コンクールでの入賞。県小中学校音楽祭では、鮫川中は郡代表として堂々と発表し、鮫川小は美しいハーモニーで銀賞受賞。東西しらかわ中学校駅伝競走大会では男子チームが優勝、女子チームが第五位。十月に行われた全国ジュニアオリンピック大会では、走り幅跳びに県代表として出場し、見事全国第三位を獲得。子どもたちの活躍が光った一年でした。▼今年も明るい話題が多く、たくさんの笑顔が見られる村であるよう皆さんで頑張っていきましょう。

大樂勝弘

広報 さめがわ 1 January 2014
平成26年1月1日発行（毎月1日発行）
第717号（昭和27年9月創刊）
発行／福島県鮫川村　編集／鮫川村役場企画調整課
〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新堤39番地 S